

すぐに使える

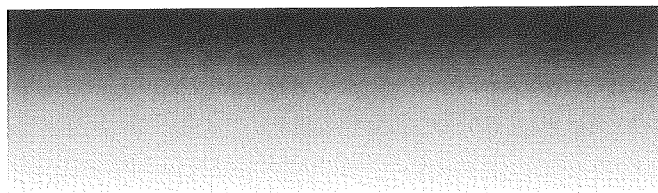
各種書式フォーマット集

- ① 特許管理台帳のフォーマット例
- ② 新規出願依頼書のフォーマット例
- ③ 出願経過通知書
- ④ 見直手続報告書と見直手続回答書
- ⑤ 意見書提出報告書
- ⑥ 拒絶理由通知報告書
- ⑦ 拒絶理由に対する回答書
- ⑧ 拒絶査定通知報告書
- ⑨ 拒絶査定に対する回答書
- ⑩ 年金納付確認書
- ⑪ 年金納付手続要否回答書
- ⑫ 出願審査請求の要否について
- ⑬ 審査請求回答書

◆ 特許庁への書類

- ⑭ 特許願
- ⑮ 手続補正書
- ⑯ 意見書
- ⑰ 出願審査請求書
- ⑱ 優先審査に関する事情説明書
- ⑲ 早期審査に関する事情説明書
- ⑳ 特許料納付書
- ㉑ 手続補正書
- ㉒ 国内書面
- ㉓ 審判請求書
- ㉔ 優先権証明請求書
- ㉕ 特許料減免申請書
- ㉖ 特許料猶予申請書
- ㉗ 特許料軽減申請書
- ㉘ 審査請求料減免申請書
- ㉙ 審査請求料軽減申請書
- ㉚ 実用新案登録料減免申請書
- ㉛ 実用新案登録料猶予申請書
- ㉜ 実用新案技術評価請求料減免申請書
- ㉝ 音訳または英語への翻訳届

※ 特許庁への書類(出願から審査、審判、登録まで)については、<http://www.jpo.go.jp/>にて閲覧できます。





特許管理台帳のフォーマット例

——出願ファイルを作成し保管するには市販ソフトを使う——

期限管理、特許庁からの指示に対応するため台帳あるいはパソコン管理をすることを勧める。

市販特許管理ソフトの一般的な管理項目画面と、帳票の種類を紹介しておく。

(原則として出力はすべてプレビュー、印刷、ファイル出力の機能を有する。)



代表的な特許管理ソフトの入力画面一覧

【基本画面】

受付管理時の内容が参照できます。

発明者が無制限に入力可能です。しかもマスターから選択するので楽々入力。複雑でイレギュラーな補償金にも対応可能。

多彩な入力マスターにより、選択入力が可能です。これによって入力時のミスを最小限に抑えます。

【経過画面】

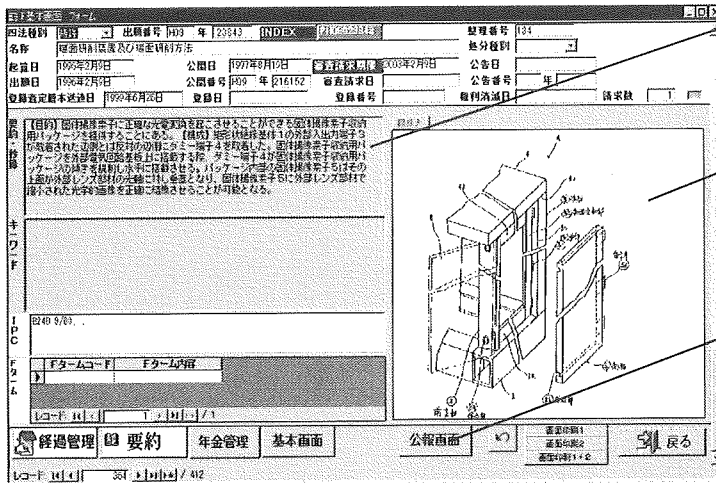
対応する外国出願が入力できます。

手続補正・拒絶査定等の重要中間記録が中間記録欄に入力されると事件種別/送達日/手続期限等が自動セットされます。

中間記録が無制限に入力可能です。

包袋資料をリンクすることにより包袋資料の管理が可能です。

【要約画面】

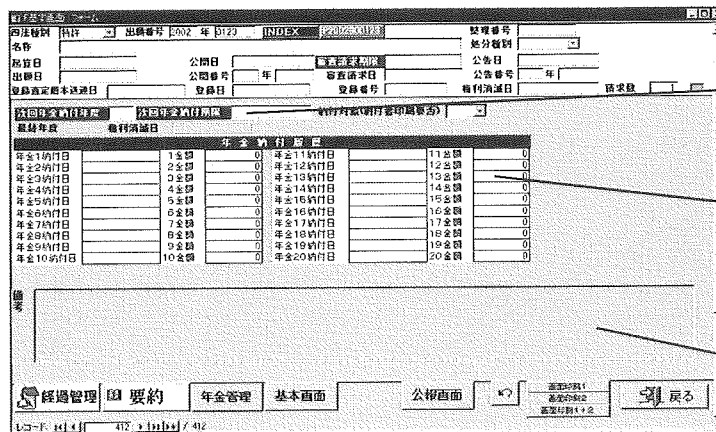


要約・抄録が入力できます。
PATOLISや電子出願データから入力可能です。

代表図表の図面が入力可能です。
jpg/gif/bmp等、多彩な種類のイメージが貼り付けできます。

リンク機能により、公報イメージも参照可能です。
PDFやTIFF等の全文公報によって案件の全容を参照することができます。

【年金画面】



今回の年金納付期間と年度が表示されています。

年金の支払い状況がひとめで確認できます。

自由に入力・検索が可能です。
サイズも可変長ですので、いろいろと使えます。
イレギュラーな経過情報等の入力にお使い下さい。

新規出願依頼書のフォーマット例

× × 特 許 事 務 所 御 中	平成 年 月 日 株式会社
新 規 出 願 依 頼 書	
下記の発明につき、案分作成と出願をお願い致します。	
1. 社内整理 番号	_____
2. 発明（考案）等の名称	_____
3. 発明者の氏名及び居所	
(1)	_____
(2)	_____
4. 原稿到着希望日	月 日
5. 出願人	_____ 株式会社
住 所	_____
代表者	_____
※共同出願人	_____ 株式会社
住 所	_____
代表者	_____
6. 送付書類；出願原稿，委任状，関連公報	
	下記書類も同封

7. * 共同出願人の連絡先	_____
8. * 費用持ち分	_____
9. * 出願書類等の送付方法	_____
	以 上
	* 共同出願の場合は記載が必須の事項

メモ

特許事務所に出願依頼する時は委任状（ほうかつ、案件別）を提出する必要があります。特許庁は委任状を受けて、委任状まで番号を通知します。これら一連の業務は特許事務所側にて準備、手続きを行なってくれます。

出願経過通知書

発明者： 殿

平成 年 月 日
知的財産部
担当 _____

表記出願について、特許庁から下記のような
〇〇号通知がありましたのでお知らせします。

1. 社内整理番号

2. 発明（考案）の名称

3.

特許

実新

国内

国外

4.

出願番号

年

号

出願日

年

月

日

公開番号

年

号

公開日

年

月

日

登録番号

号

登録日

年

月

日

権利存続期間

年

月

日

～

年

月

日

なお、権利の存続期間中は当社の利益保護のため、競合他社の実施（生産、販売、使用など）を排除することができます。本件発明に関し、当社および他社の実施状況（予定を含む）について最新の情報がありましたらお知らせください。

5. 添付資料

年 月 日

殿

作成者

見直手続報告書と見直手続回答書

表記出願について、下記見直手続回答書でもって回答下さい。
(優先権による手続は、出願後1年以内実施する必要があります)
回答期限 年 月 日迄お願いします

《回答書》

1. 名称					
2. 整理番号	2002001	四法種別	特許	出願番号	2002-001232
3. 回答内容	出願の取下要否	1. 要 (理由記載のこと)	2. 否		
	補正の有無	1. 有 (別添記載のこと)	2. 無		
	追加の有無	1. 有 (別添記載のこと)	2. 無		
	外国出願の要否	1. 要 (依頼書添付のこと)	2. 否		
4. 添付書類	・補正用書類 ・追加用書類 ・外国出願依頼書				
5. 取り下げ理由	----- ----- ----- -----				
6. 発明者	100003	加藤 太郎	基礎研究1部		
	100002	山崎 俊則	開発本部		

所属部門長:

知的財産				

意見書提出報告書

殿

2004年9月13日

知的財産

四法種別 特許

整理番号

出願番号 H09-17702

名称：無人搬送台車

表記出願について、特許庁に意見書を提出しましたので、お知らせいたします。

記

1. 意見書提出日 年 月 日

2. 添付書類 意見書 写一部

3. 連絡事項

— 出願経過 —

中間記録種別	中間記録日付
願書	1997年1月17日
職権訂正	1997年2月6日
代理辞任	1999年9月22日
認定情報	2001年12月27日
名義変更	2002年12月2日
検索報告	2002年12月12日
利用状況	2002年12月26日
拒絶理由	2003年3月4日
代理選任	2003年4月8日
閲覧請求	2003年5月2日
意見書	2003年5月6日

拒絶理由通知報告書

殿

2004年9月13日

四法種別 特許
整理番号 2003001
出願番号 2003-001200
名称：

知的財産

表記出願について、特許庁から別紙の拒絶理由を受けましたので、添付の拒絶理由回答書に記入の上、期日までにご返送ください。

記

1. 当部宛回答期限
2. 特許庁提出期限 **2004年2月9日**
3. 添付書類 拒絶理由通知
引用例 写一部
4. 連絡事項

— 出願経過 —

中間記録種別	中間記録日付
拒絶理由	2004年1月1日
登録査定	2004年1月10日

年 月 日

知的財産 殿

拒絶理由に対する回答書

作成者 _____

1. 名称					
2. 整理番号	20003001	四法種別	特許	出願番号	2003-001200
3. 実施状況	1. 現状		2. 予定		
	※出来る限りパンフレット、サンプル等を添付して下さい				
4. 意見書提出 要否	1. 放棄 2. 要 (いずれの場合も理由を記載のこと)				
5. 理由	----- ----- ----- -----				
6. 補正について	1. 無 2. 有 → a. 添付 b. 月 日迄に追って送付します				
7. 発明者	100004 伊藤 昭典 開発本部				

所属部門長： _____

知的財産				

拒絶査定通知報告書

殿

2004年9月13日

知的財産

四法種別 特許

整理番号

出願番号 H08-135712

名称：搬送ロボットを用いたクリーンルームの物

表記出願について、特許庁から別紙の拒絶査定を受けましたので、添付の拒絶査定回答書に記入の上、期日までにご返送ください。

記

1. 当部宛回答期限

2. 特許庁提出期限

3. 添付書類 拒絶査定通知書

引用例

写一部

4. 連絡事項

— 出願経過 —

中間記録種別	中間記録日付
願書	1996年5月7日
職権訂正	1996年6月12日
要約職権	1997年2月19日
認定情報	2001年5月25日
拒絶理由	2002年1月15日
補正書	2002年3月15日
意見書	2002年3月15日
拒絶査定	2002年9月3日
請求書	2002年10月3日
補正書	2002年11月29日
補正書	2002年11月29日
名義変更	2002年12月2日
名義変更	2002年12月2日
代理選任	2003年4月8日
代理選任	2003年4月8日

年 月 日

知的財産 殿

拒絶査定に対する回答書

作成者

1. 名称	搬送ロボットを用いたクリーンルームの物			
2. 整理番号		四法種別	特許	出願番号 H08-135712
3. 実施状況	1. 現状 2. 予定 ※出来る限りパンフレット、サンプル等を添付して下さい			
4. 審判請求要否	1. 放棄 2. 要 (いずれの場合も理由を記載のこと)			
5. 理由	----- ----- ----- -----			
6. 補正について	1. 無 2. 有 → a. 添付 b. 月 日迄に追って送付します			
7. 審判理由補充について	1. 作成・添付 2. 未作成 → 月 日迄に追って送付します ※理由補充は審判請求日より30日以内に提出の要有り			
8. 発明者	大谷 幹雄			

所属部門長：

知的財産				

年金納付確認書

殿

2004年 9月13日

四法種別 特許

知的財産

整理番号

出願番号 H01-229811

名称：移動ロボットシステムにおけるプログラム

要約：【目的】複数のアームプログラムを実行する場合にプログラムの共通する動作を第2番目以降のプログラムにおいて省略することにより、無駄な処理を省略して作業能率の向上を図る。【構成】制御局が移動ロボットに対し作業場所及び実行すべきアームプログラム番号を指示すると通信装置2eを介してCPU2aに送られる。アーム制御装置2hはCPU2aからの指示によりロボットを作業場所に移動させた後アームプログラムをメモリ21から読み出しロボットアームを制御して各種の作業を実行させる。そして制御局から同一作業場所において複数のアームプログラムの実行を指示された場合は、プログラムの中の共通する動作例えば視覚補正データの算出や光I/O処理等を第2番目以降のプログラムにおいて省略する。これにより無駄な処理を省略して作業能率の向上させる。

表記出願について 7年度の年金納付期限が 2004年4月10日に 到来します。
納付手続きの要否について別添納付手続回答書をもってご回答下さい

記

登録番号：第 _____ 号

納付金額： _____ 円

権利消滅日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

共同出願： _____

回答期限： _____ 年 _____ 月 _____ 日

連絡事項：

出願審査請求の要否について

殿

2004年9月13日

技術管理部 知的財産

四法種別 特許

整理番号

出願番号 2001-45100

名称：高層収納棚及びそのメンテナンス方法

表記出願について、出願審査請求の要否、および補正の有無（審査請求 要のもののみ）
をご検討いただき、貴案を添付の審査請求回答書に記入のうえ 年 月 日まで
にご返送下さい。

記

1. 出願日 平成13年02月21日
2. 公開番号 2002-249204
3. 公開日 2002年9月3日
4. 発明者 松本 剛志
5. 要約 【目的】高層収納棚の高さに関係なく、また、移載ロボットの停止位置に関係なく、メンテナンス用の足場を形成することができるプラットホームを備えた高層収納棚及びそのメンテナンス方法を提供する。
6. 連絡事項

年 月 日

知的財産 殿

審査請求回答書

作成者

1. 名称	高層収納棚及びそのメンテナンス方法																																																				
2. 整理番号		四法種別	特許	出願番号	2001-45100																																																
3. 内容評価	新規性 (優・良・可・不可) 進歩性 (優・良・可・不可) 商品的価値 (優・良・可・不可) 商品化予定 (商品化済・予定有/無・未定)																																																				
4. 審査請求要否	1. 要 2. 不要 3. 関係者との協議を希望																																																				
5. 理由	----- ----- ----- -----																																																				
6. 発明者	松本 剛志																																																				
7. 請求要否の理由となる項目 (参考)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>理 由</th> <th>チェック</th> <th></th> <th>理 由</th> <th>チェック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">実施中または実施準備中</td> <td rowspan="2"></td> <td>7</td> <td>先願の補強性が強い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>秘密保持が必要</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">実施許諾中または実施許諾準備中</td> <td rowspan="2"></td> <td>9</td> <td>先願や公知文献等がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>陳腐化した</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>画期的な技術である</td> <td></td> <td>11</td> <td>防 衛 出 願</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果がすぐれている</td> <td></td> <td>12</td> <td>他社との契約による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>回避が容易でない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ノウハウ要素が強い</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						理 由	チェック		理 由	チェック	1	実施中または実施準備中		7	先願の補強性が強い		8	秘密保持が必要		2	実施許諾中または実施許諾準備中		9	先願や公知文献等がある		10	陳腐化した		3	画期的な技術である		11	防 衛 出 願		4	効果がすぐれている		12	他社との契約による		5	回避が容易でない					6	ノウハウ要素が強い				
	理 由	チェック		理 由	チェック																																																
1	実施中または実施準備中		7	先願の補強性が強い																																																	
			8	秘密保持が必要																																																	
2	実施許諾中または実施許諾準備中		9	先願や公知文献等がある																																																	
			10	陳腐化した																																																	
3	画期的な技術である		11	防 衛 出 願																																																	
4	効果がすぐれている		12	他社との契約による																																																	
5	回避が容易でない																																																				
6	ノウハウ要素が強い																																																				
8. 連絡																																																					

所属部門長：

技術管理部 知的財産				

【書類名】 特許願
【整理番号】 P 000003 - 1
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 A 11 B 1 / 11
A 11 B 2 / 11
【発明者】
【住所又は居所】 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3 番 1 号
【氏名】 発明 一郎
【特許出願人】
【識別番号】 000000000
【氏名又は名称】 特許株式会社
【代表者】 特許 花子
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 888888
【納付金額】 21000
【提出物件の目録】
【物件名】 特許請求の範囲 1
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1

【書類名】 特許請求の範囲

【請求項 1】

レンズ系を介して書面からの反射散乱光を 1 次元イメージセンサに受光することで主走査を行い、書面を被覆したハウジングを手送り移動することで副走査を行う書面イメージの入力手段において、該ハウジング内の上部に装着され、その受光面が書面と平行になるように設定された 1 次元イメージセンサと、書面に垂直でセンサ列方向軸を含む平面に対して傾斜し、かつ該センサ列方向軸と直行した光路面を構成するレンズ系とを備え、該ハウジングの被覆側端部で主走査することを特徴とするハンドスキャナ。

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ハンドスキャナ

【技術分野】

【0001】

本発明は、走査位置の観測確認が容易なハンドスキャナに関するものである。

<以下省略>

【書類名】	手続補正書（方式）
【あて先】	特許庁長官殿
【事件の表示】	
【出願番号】	特願2000-000000
【補正をする者】	
【識別番号】	000000000
【氏名又は名称】	特許株式会社
【代表者】	特許 花子
【代理人】	
【識別番号】	000000000
【弁理士】	
【氏名又は名称】	特許 太郎
【発送番号】	000000000
【手続補正1】	
【補正対象書類名】	特許願
【補正対象項目名】	特許出願人
【補正方法】	変更
【補正の内容】	
【特許出願人】	
【識別番号】	000000000
【住所又は居所】	東京都千代田区霞ヶ関3-4-3
【氏名又は名称】	特許株式会社
【代表者】	特許 一郎
【手数料補正】	
【補正対象書類名】	特許願
【予納台帳番号】	000000
【納付金額】	6000

【書類名】 意見書
【あて先】 特許庁審査官殿
【事件の表示】
【出願番号】 特願2000 - 000000
【特許出願人】
【識別番号】 000000000
【氏名又は名称】 特許株式会社
【代表者】 特許 花子
【代理人】
【識別番号】 000000000
【弁理士】
【氏名又は名称】 特許 太郎
【発送番号】 000000
【意見の内容】

平成0年0月0日付の拒絶理由通知書により指摘された箇所については、平成0年0月0日に該当箇所の手続きを行っており、本拒絶理由は解消されていると思われま

【書類名】 出願審査請求書
【あて先】 特許庁長官殿
【出願の表示】
【出願番号】 特願2000 - 000000
【請求項の数】 1
【請求人】
【識別番号】 000000000
【氏名又は名称】 特許株式会社
【代表者】 特許 花子
【代理人】
【識別番号】 000000000
【弁理士】
【氏名又は名称】 特許 太郎
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 000000
【納付金額】 86300

【書類名】 優先審査に関する事情説明書

【あて先】 特許庁長官殿

【事件の表示】

【出願番号】 特願2000 - 000000

【提出者】

【識別番号】 000000000

【氏名又は名称】 特許株式会社

【代表者】 特許 花子

【代理人】

【識別番号】 000000000

【弁理士】

【氏名又は名称】 特許 太郎

【実施の状況等】

1. 実施の状況
2. 実施等による影響
3. 折衝の経過

【書類名】 早期審査に関する事情説明書

【あて先】 特許庁長官殿

【事件の表示】

【出願番号】 特願2000 - 000000

【提出者】

【識別番号】 000000000

【氏名又は名称】 特許株式会社

【代表者】 特許 花子

【代理人】

【識別番号】 000000000

【弁理士】

【氏名又は名称】 特許 太郎

【早期審査に関する事情説明】

1. 日本国特許庁以外の特許庁への出願の表示

(1) 外国特許庁名 アメリカ特許商標庁

(2) 出願日 平成00年0月0日

(3) 出願番号 US9900001

(4) 証拠の表示

2. 先行技術調査及び対比説明

(1) 調査結果

(2) 対比説明

(3) その他

【提出物件の目録】

【物件名】 出願書類願書の第1ページの写し 1

【物件名】 出願書類願書の第3ページの写し 1

【添付物件】

【物件名】 出願書類願書の第1ページの写し

【内容】 出願書類の写しを添付します。

【書類名】	特許料納付書
【あて先】	特許庁長官殿
【出願番号】	特願2000 - 000000
【請求項の数】	1
【特許出願人】	
【氏名又は名称】	特許株式会社
【代表者】	特許 花子
【納付者】	
【識別番号】	000000000
【氏名又は名称】	特許 太郎
【納付年分】	第1年分から第3年分
【特許料の表示】	
【予納台帳番号】	000000
【納付金額】	42300
【その他】	平成00年00月00日 出願人名義変更届提出

【書類名】 手続補正書（方式）
【あて先】 特許庁長官殿
【事件の表示】
 【出願番号】 実願2000 - 000000
【補正をする者】
 【識別番号】 000000000
 【氏名又は名称】 実用株式会社
 【代表者】 実用 花子
【代理人】
 【識別番号】 000000000
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 実用 太郎
【発送番号】 000000
【手続補正1】
 【補正対象書類名】 実用新案登録願
 【補正対象項目名】 実用新案登録出願人
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【実用新案登録出願人】
 【識別番号】 000000000
 【住所又は居所】 東京都千代田区霞ヶ関3 - 4 - 3
 【氏名又は名称】 実用株式会社
 【代表者】 実用 一郎
【手数料補正】
 【補正対象書類名】 実用新案登録願
 【予納台帳番号】 000000
 【納付金額】 4000

【書類名】 国内書面
【あて先】 特許庁長官殿
【出願の表示】
【国際出願番号】 PCT／US00／00000
【出願の区分】 特許
【発明者】
【住所又は居所】 アメリカ合衆国 ニューヨーク州 10566 コートランツ マンナ
ミリングトン ロード500
【氏名】 エルビス・ウォルター・ジョセフ
【特許出願人】
【識別番号】 000000000
【氏名又は名称】 アネックス・インコーポレーテッド
【代表者】 デービス・ビンセント・アネックス
【代理人】
【識別番号】 000000000
【弁理士】
【氏名又は名称】 国際 太郎
【選任した代理人】
【識別番号】 000000000
【弁理士】
【氏名又は名称】 特許 二郎
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 000000
【納付金額】 21000
【提出物件の目録】
【物件名】 請求の範囲の翻訳文 1
【物件名】 明細書の翻訳文 1
【物件名】 図面の翻訳文 1
【物件名】 要約書の翻訳文 1
【包括委任状番号】 0000000

【書類名】 特許請求の範囲

【請求項1】

レンズ系を介して書面からの反射散乱光を1次元イメージセンサに受光することで主走査を行い、書面を被覆したハウジングを手送り移動することで副走査を行う書面イメージの入力手

<以下省略>

【書類名】 審判請求書
【あて先】 特許庁長官殿
【審判事件の表示】
 【出願番号】 特願2000 - 000000
 【審判の種別】 拒絶査定に対する審判事件
【請求項の数】 1
【審判請求人】
 【識別番号】 000000000
 【氏名又は名称】 通産 太郎
【代理人】
 【識別番号】 000000000
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 特許 一郎
【選任した代理人】
 【識別番号】 000000000
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 特許 二郎
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 000000
 【納付金額】 55000
【請求の趣旨】 原査定を取り消す、本願は特許をすべきものであるとの審決を求め
る
【請求の理由】
【手続の経緯】
 K K K K K K K
【拒絶査定の要点】
 k k k k k k k
【本願発明が特許されるべき理由】
 本願については下記の図に……………理由により特許されるべきである。
【むすび】
 K K K K K K K
【証拠方法】 証拠として…
【提出物件の目録】
 【物件名】 委任状 1
 【援用の表示】 特願2000 - 000000に添付した委任状を援用する。

【書類名】 優先権証明請求書
【あて先】 特許庁長官殿
【事件の表示】
 【出願番号】 特願2000 - 000000
【請求人】
 【識別番号】 000000000
 【氏名又は名称】 特許 太郎
【出願国名】 アメリカ合衆国
【出願国名】 カナダ
【出願国名】 フランス
【証明に係る他の書類名】 平成0年0月0日提出の手續補正書及び平成0年0月0日提出の出願人名義変更届
【交付方法】 郵送
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 000000
 【納付金額】 3300

【書類名】 特許料減免申請書

【提出日】 平成 年 月 日

【あて先】 特許庁長官 殿

【出願の表示】

【出願番号】 特願 -

【申請人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【申請の趣旨】

【申請の理由】

【提出物件の目録】

【物件名】

【書類名】 特許料猶予申請書

【提出日】 平成 年 月 日

【あて先】 特許庁長官 殿

【出願の表示】

【出願番号】 特願 -

【申請人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【代表者】

【申請の趣旨】 特許法第109条第2号の規定に掲げる者

【申請の理由】 特許料の猶予

【提出物件の目録】

【物件名】

【書類名】 特許料軽減申請書（産業技術力強化法）

【提出日】 平成 年 月 日

【あて先】 特許庁長官 殿

【出願の表示】

【出願番号】 特願 ー

【申請人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【代表者】

【申請の趣旨】

【申請の理由】 特許料の軽減

【提出物件の目録】

【物件名】

【書類名】 審査請求料減免申請書

【提出日】 平成 年 月 日

【あて先】 特許庁長官 殿

【出願の表示】

【出願番号】 特願 -

【申請人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【申請の趣旨】

【申請の理由】

【提出物件の目録】

【物件名】

【書類名】 審査請求料軽減申請書（産業技術力強化法）

【提出日】 平成 年 月 日

【あて先】 特許庁長官 殿

【出願の表示】

【出願番号】 特願 -

【申請人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【代表者】

【申請の趣旨】

【申請の理由】 審査請求料の軽減

【提出物件の目録】

【物件名】

【書類名】 実用新案登録料減免申請書

【提出日】 平成 年 月 日

【あて先】 特許庁長官 殿

【出願の表示】

【出願番号】 実願 -

【申請人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【申請の趣旨】 実用新案法実用新案法第32条の2の規定に掲げる者

【申請の理由】 実用新案登録料の免除

【提出物件の目録】

【物件名】

【書類名】 実用新案登録料猶予申請書

【提出日】 平成 年 月 日

【あて先】 特許庁長官 殿

【出願の表示】

 【出願番号】 実願 -

【申請人】

 【識別番号】

 【住所又は居所】

 【氏名又は名称】

【申請の趣旨】 実用新案法実用新案法第32条の2の規定に掲げる者

【申請の理由】 実用新案登録料の猶予

【提出物件の目録】

 【物件名】

【書類名】 実用新案技術評価請求料減免申請書

【提出日】 平成 年 月 日

【あて先】 特許庁長官 殿

【出願の表示】

【出願番号】 実願 -

【申請人】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【申請の趣旨】 実用新案法54条第10項の規定に掲げる者

【申請の理由】

【提出物件の目録】

【物件名】

(別添様式見本1)

音訳又は英語への翻訳届

(平成 年 月 日)

特許庁長官 殿

1. 識別番号
2. 音訳又は英語への翻訳を届出る者

住所又は居所

氏名又は名称

① 又は 識別ラベル

3. 届出の内容

住所又は居所の音訳又は英語への翻訳

氏名又は名称の音訳又は英語への翻訳

4. 代理人

識別番号

住所又は居所

氏名又は名称

① 又は 識別ラベル

[備考]

1. 氏名(名称)、住所(居所)の音訳又は英語への翻訳は、ローマ字を用いて記載する。
2. 工業所有権に関する手続等の特例に関する法律施行規則様式第1の備考1から3まで、5、14及び16から19まで、並びに様式第2の備考1から3及び5と同様とする。

(別添様式見本2)

氏名（名称）の音訳又は英語への翻訳変更届

(平成 年 月 日)

特許庁長官 殿

1. 識別番号
2. 氏名（名称）の音訳又は英語への翻訳を変更した者

住所又は居所

氏名又は名称

①又は 識別ラベル

3. 届出の内容

旧氏名（旧名称）の音訳又は英語への翻訳

新氏名（新名称）の音訳又は英語への翻訳

4. 代理人

識別番号

住所又は居所

氏名又は名称

①又は 識別ラベル

[備考]

1. 氏名（名称）の音訳又は英語への翻訳は、ローマ字を用いて記載する。
2. 工業所有権に関する手続等の特例に関する法律施行規則様式第1の備考1から3まで、5、14及び16から19まで、並びに様式第2の備考1から3及び5と同様とする。

住所（居所）の音訳又は英語への翻訳変更届

(平成 年 月 日)

特許庁長官 殿

1. 識別番号
2. 住所（居所）の音訳又は英語への翻訳を変更した者

住所又は居所

氏名又は名称

① 又は 識別ラベル

3. 届出の内容

旧住所（旧居所）の音訳又は英語への翻訳

新住所（新居所）の音訳又は英語への翻訳

4. 代理人

識別番号

住所又は居所

氏名又は名称

① 又は 識別ラベル

[備考]

1. 住所（居所）の音訳又は英語への翻訳は、ローマ字を用いて記載する。
2. 工業所有権に関する手続等の特例に関する法律施行規則様式第1の備考1から3まで、5、14及び16から19まで、並びに様式第2の備考1から3及び5と同様とする。

注意書

1. 提出先

音訳又は英語への翻訳の届又は、変更届は国際出願課へ直接又は郵送により提出して下さい。

2. 提出期間

- (1) 届出は、予めPCT国際出願をする以前に行ってください。
- (2) 届出の提出を集中的に御願ひする関係で4月から5月末までの2ヶ月間を事前届出期間としていますが、この期間を経過した後であっても届出の提出は可能です。

3. 届け出の対象

平成16年1月以降に日本の受理官庁にPCT国際出願をする場合には出願人や代理人の氏名(名称)、住所(居所)の届を行ってください。
なお、発明者の届出は不要です。

4. 届出書の記載要領

- (1) 識別番号が既にある場合には必ず記載して下さい。
ただし、識別番号付与請求書と共に提出する場合には不要です。
- (2) 音訳又は英語への翻訳はローマ字により記載して下さい。
- (3) その他は届出書の備考に従って作成して下さい。

5. 提出書

- (1) 識別番号が既に付与されている*

★音訳又は英語への翻訳届(別添様式見本1)を提出して下さい。

- (2) 新規に識別番号の付与請求をする*

★識別番号付与請求書(特例法施行規則様式1)と音訳又は英語への翻訳届(別添様式見本1)の双方を提出して下さい。

- (3) 氏名(名称)、住所(居所)の変更の届出をする*

★氏名(名称)変更届(特例法施行規則様式2)と氏名(名称)の音訳又は英語への翻訳変更届(別添様式見本2)の双方を提出して下さい。

★住所(居所)変更届(特例法施行規則様式2)と住所(居所)の音訳又は英語への翻訳変更届(別添様式見本3)の双方を提出して下さい。

6. その他

前記5.(3)の手続を行った場合でも出願中のPCT国際出願については、個々の事件単位での氏名(名称)や住所の変更届出は別途従来どおり必要となりますので国際出願課へ手続して下さい。

●著者紹介

知的財産活用研究所

松村 貞夫

1940年生まれ。松村知的財産戦略研究所代表。株式会社リコーにて知的財産部部長、副理事法務本部審議役を歴任。社外においても、日本知的財産協会副理事長などを歴任。

隈元 光太郎

1962年、呉羽化学工業株式会社入社。東京研究所勤務を経て特許調査本部にて、特許情報解析などに携わり、知的財産部担当部長などを務める。日本におけるパテントマップについての第一人者。

佐野 弘

1957年生まれ。弁理士。1996年、佐野国際特許事務所を設立。専門分野(明細書作成分野)は、自動車、製造技術。

長谷川 公彦

1976年より、レオン自動機株式会社、ホリー株式会社などで、開発設計や特許管理などに従事。1999年に、佐野国際特許事務所へ。特許のための発想技法の開発で知られる。

矢間 伸次

1944年生まれ。1974年に日本アイアール株式会社(業務内容は特許調査、特許情報サービス、特許教育用教材の開発など)を設立。現在代表取締役社長。日本知的財産翻訳協会理事。

※本書の内容等についてのお問い合わせ先

日本アイアール株式会社 〒160-0007 東京都新宿区荒木町5-4
TEL.03-3357-3467(代) FAX.03-3357-8277
<http://www.nihon-ir.co.jp>

強い特許で強い会社をつくる

知財・特許業務 必携マニュアル

(検印廃止)

2004年11月12日 第1刷発行
2006年6月8日 第5刷発行

著者——知的財産活用研究所
発行者——中園重信
発行所——ぜんにち出版株式会社

東京都港区西新橋2-7-4 CJビル7F 〒105-0003
ビジネスマニュアル事業部 TEL:03(3509)6654(直通)
FAX:03(3509)6672
<http://www.zennichi.co.jp/>

印刷・製本——(株)平河工業社

乱丁本・落丁本は小社にてお取り替えいたします
©Chitekizaisan Katsuyou Kenkyujo 2004 Printed in JAPAN